

4回目の夕張地域研修

地域の抱える問題の解決のために私達ができることは何か

今年も地域研修の季節がやってきました。2年生ゼミの訪問先は、今年も夕張です。今年で4回目になります。夕張は、この間、財政再建団体入りをするという大変厳しい事態に直面しました。なので、さすがに今年は夕張を訪問するのは無理かなと思いましたが、有難いことに、関係者の方々の温かい受け入れで、今年も、なんとか夕張で地域研修を行い、地域の抱える問題をリアルに学び、かつ、地域再生のあり方について学生なりにいろいろ考える機会を得ることができました。夕張での地域研修の状況を報告します。

■いざ夕張へ！



全員集合！

じつに当たり前のことではありますが、当日は、一人の遅刻・欠席もなく全員集合。こんなことでほっとするのは日頃の教育・指導不足を露呈していることになりませんが、学生はなにせ朝が弱いものですから、つい心配してしまいます。さて、これから夕張で2泊3日の地域研修です。スケジュールは次のとおり。

9月3日（月）

10:00 大学出発
11:00 『北海道新聞』大曲工場を見学
12:00 過ぎ 夕張へ向けて出発
14:30 夕張高校で2時間ほど研修
宿泊施設「ひまわり」へ
夕食後 持参した各種資料を使い、学習会

9月4日（火）

午前 NPO法人ゆうばり観光協会で研修
午後 本町商店街店舗等で聞き取り等
夕張商工会議所で研修
夕食後 反省会 兼 懇親会

9月5日（水）

09:00 「ひまわり」出発、メロン城⇒シューパロダム
⇒札幌方面へ
13:00 千歳キリンビール工場を見学
15:00 大学到着

■工場見学！

夕張入りする前に、まずは、『北海道新聞』の印刷工場に立ち寄り工場見学です。聞くとところによれば、工場見学の来場者で多いのは小学生ということですから、小学生を対象にした見学内容になっていた感もありますが（案内のチャージングなお姉さまの対応も、完全に小学生対応になっていたような気がします）、それはそれ、しっかり勉強してきました。



ビデオ視聴中

新聞のもつ役割・意義、新聞のできるまでのビデオを見た後は、質問タイムです。工場ではどの位の数の従業員がどういう仕事に従事しているのでしょうか、というお約束の質問はもちろんのこと、昼夜稼働しているこうした印刷工場では、従業員の勤務シフトはどう

なっているのか、安全衛生上の課題は何か、記事が新聞になるまでの流れはどうなっているのか、等々の質問に加えて、道警問題の追及など、全国紙ではなかなか行い得ないことをぜひ頑張ってくださいと『道新』にエールを送らせていただきました。



新聞の歴史を感じます

もっとも、エールを送るからには『道新』あるいは新聞をしっかり読んでいなければならないのですが、若者の活字離れが指摘されて久しい今日、私のゼミでも、新聞を読む学生は多くはありません。いや、正直に言う「少ない」でしょう。毎日読んでいるというのは全体の3分の1ぐらいでしょうか。



今日だけ(?) みんな新聞読者

今回、新聞ができあがるまでにじつに多くのひとたちが関わっていること、そして、新聞が果たす役割を理解したことを機に、新聞を毎日読む週間を身につけてもらいたいものです(願望)。

■夕張高校

工場見学の後是一路夕張へ。今年もまずは夕張高校にお邪魔しました。私達の問題意識は次のとおりです。すなわち、フリーター、NEET という単語はよく見聞き

しますが、こうした単語は、ともすれば若年層の失業率の高さを彼らの就業意識・就業行動の低さとの関連で説明する際に用いられることが少なくありません。しかしながら実際には、地方都市あるいは過疎地では、そもそも雇用そのものが存在しないという構造的な問題があります。若者の雇用問題を考える際には、まずは事態の正確な理解が欠かせません。夕張高校の卒業生の実態を例に、高校生の就職事情や就職先の労働条件などについて具体的に学ぼう! というわけです。



いよいよ研修らしくなってきました

上に書いたとおり、夕張高校では、毎年勉強させていただいているのですが、頂戴する資料やお話の内容は、お邪魔するたびにバージョンアップされていて、本当に勉強になります。今年ご報告いただいた内容・流れは次のとおりです。

1. 本日の研修内容・テーマ
2. 夕張高校の就職志望者の現状
3. 最近の就職先の傾向
4. 就職後の動向(離職状況など)
5. キャリア教育など
6. 質疑応答



これが求人票かあ

私自身が一番勉強になったのは、高校に来る求人票を使いながらお話いただいた、高校生の就職先の労働条件等です。ほほうこれは働きやすそうな職場だなあと
思わせるものもあれば、能力給部分のウェイトが大き
くて高校生にはこれはちょっと厳しいのではないだろ
うかと思わせるような求人まで、様々でした。10代の
高校生を温かく迎え入れそして育てるような職場が増
えて欲しい、あるいはそういう社会を目指したいと思
いましたが、そういう考えは、今日においては甘いの
かな。



もりもり食べよう



毎年、じつに中身の濃い研修です

■「ひまわり」到着、飯！



今日は貸し切り！

研修を終えて宿泊先へ。宿泊先は、例年通り、廃校を
活用した「ひまわり」です。「廃校に宿泊する」という
と、おんぼろの宿泊施設を思い浮かべてがっかりする
学生が少なくありませんが、それは勘違いで、「ひまわ
り」はゴージャスです。食事内容も含めて。一日の疲
れを豪華な食事で癒そうということで、ガシガシと食
事開始です。残さずに全部食べるべしというミッシ
ョンのもとで、ケーキ3人分を食べたK君。それはカロ
リー摂取し過ぎじゃないかい。

食後は、2 日目に備えた勉強会です。今年は、どこも
かしこも大変忙しいところを受け入れてくださったと
いう事情もありますので、例年以上に勉強が必要です。
この「通信」の最後に、学生に提供した資料タイト
ルの一覧を掲げておきました。2 年生には少々ハード
だったかもしれませんが、せっかく現地を訪れている
のですから、このぐらゐの事前学習は欠かせません。次
年度に履修を希望している学生は、よく考えた上で履
修することをおすすめします。



夜も朝も食事はボリュームいっぱい（宣伝）

■夕張観光協会—市民の力



一夜明けて、いざ出陣

2日目の最初の訪問先は、NPO 法人ゆうばり観光協会です。前半は、夕張で暮らしてこられた一市民の目から見た夕張の歴史(石炭産業の栄枯盛衰とあわせて)や、財政再建団体入り前後の状況などをお話いただき、後半は、協会の活動の具体的な内容や今後の課題などをお話いただきました。お忙しいところ、3 人もの役員・会員の方々が迎えてくださいました。



炭鉱の話聞くのは初めて

前半の話の中では、もと炭鉱マンの方が語る、石炭産業がさかんだったときのマチのようすや、炭鉱労働の具体的な描写、炭鉱につきものの事故・労働災害の話、炭鉱の機械化の進展とその影響、あるいは産炭地における生活や文化の話などが、個人的にも、とても興味深いものでした。



市民の力で夕張の再生を

後半は、夕張再生を目指して協会がどんな活動を展開しているのかという話でした。いま、地域づくり・地域再生において、市民の参画は不可欠の要素です。組織の財政の問題などいろいろ課題は多いとは思いますが、非常に前向きな皆さんのお話に頭が下がる思いでした。私も、自分の住む地域のこういう活動に参加してみたいものです。研修は、予定の時間を超えて、昼

過ぎまで(2 時間半も) 続けました。

■商店を再び訪れて

午後は、当初の予定では、昨年と同様に、学生を各商店に送り込んで商店主さんからお話を聞く、というプランを練っていましたが、お仕事の邪魔になってはまずいかなと思い直し、今回は、私一人で、昨年にお世話になった商店を訪問し、お話を聞いてくることにしました。その間、学生は自由行動です。



夕張のここのロケーションが好きです

有難いことに、皆さん、昨年私達がお邪魔したことを覚えていてくださり、財政再建団体入り前後の夕張の状況やご商売の状況についてお話を聞かせていただきました。あるお店では、来店した松山千春氏や GLAY のメンバーの写真が飾られていました(おお、すごい)。



ホテルのロビーで一服

今年の夕張では、各種のイベントが開催されています。そのことについて、商店街に立ち寄るひとが増えるわけでは必ずしもないとはいえ、やはりとても勇気付けられるし、有難いことでもある、とはいえ、2 年後、3 年後に夕張がどういう状況になっているかは分からないし(むしろ、厳しくなるのはこれからだろう)、人口

流出が今後も続けば商売にとってはダメージが大きいという心配の声も、同時に聞かれました。夕張への社会的な関心が続くことを願うばかりです。もちろん私達もそうしたいと思います。

■商工会議所

15 時から、商工会議所で研修を受けました。商工会議所には毎年いろいろななかたちでお世話になっています。今年は、半端ではなく！お忙しいところを受け入れていただきました。しかも、2 時間半にも及ぶ講話と、「研修用に」とあらかじめ作成の資料まで頂戴しました。研修資料は、題して「夕張市の概況と財政再建への課題」です。講話は、まずは夕張の概況説明から始まり、主要な産業（観光、農業、商工業など）の現況、財政再建団体入りの原因・背景やその影響及び課題、というような流れで進みました。



（話を聞くのに夢中で写真を撮り忘れ。代わりに「ひまわり」の宣伝を）

商工会議所では、もう 1 つ貴重な資料を頂戴しました。それは、厚生労働省が実施している事業に商工会議所など関係団体が申請した、「地域雇用創造計画（案）」という資料です。すなわち、雇用創出のために、夕張の関係団体が知恵をしぼって考え出した雇用創出計画案です。建設業の季節労働者の雇用問題などを研究テーマにしている私にとって、これは非常に貴重な資料です（ホクホク）。

講話・質疑応答が予想以上に長引き、終わったころにはもうあたりは薄暗くなっていました。一日の心地よい疲れを抱いて、「ひまわり」へ。

■反省会 兼 打ち上げ！

研修会での楽しみの一つが打ち上げ！です。しかしながらその前にまずは反省会を。学生諸君の口から共通して語られるのは、実際に現地に足を踏み入れ、関係者からいろいろな話を直接に聞くことができたのは非常に勉強になったという感想ですが、加えて、いろいろな反省点、すなわち、「もっと事前勉強をしておくべきだった（その通り！）」「日頃から社会に関心をもつ必要があると痛感した（いつもそう言っているじゃないか！）」「質問や自分の意見を積極的に言えるようになりたい（何事も練習！）」等々の反省が学生諸君から出されます。学生のそういった感想・反省を聞きながら、うんうんとうなずく私。追い討ちをかけるようなことはしません。括弧内は心の叫びです。



打ち上げ開始前

但し二点だけはビシッと伝えました。「もっともっと勉強するんだ！諸君は可能性に満ちている！」ということと、「仕事（学業）と遊びはきちんと分けて、その両方を全力で追求すべし」ということです。これだけはやはり述べなければなりません。その上で、2 泊 3 日の疲れを癒すべく、打ち上げに突入です。ちなみに、いま私の手元にある打ち上げ時の写真は、公開するにはためられるものが多いので、掲載は一部だけ。



劇団ひまわり結成？

反省も含めて、わいわい盛り上がっている最中に、どういう経緯でか、劇団（仮称、劇団ひまわり）が急遽結成され、即興で10話に及ぶドラマが演じられることに。私も、脚本家（？）兼監督役をつとめたようですが、いったいどうしてそういうことになったのか、記憶は定かではありません。遊ぶときは全力で遊べ！というには言いましたが、なぜ演劇が、、、



お父さん・息子・息子の彼女役。結構本気です

演劇の後はアカペラによる熱唱です。わがゼミは芸達者な男たちが多く在籍しており、じつに聴かせるハーモニー。深夜にこんなことができるのも、「ひまわり」ならではです。

■ダム！



「ひまわり」を後に

深夜というか一部は朝方まで続いた打ち上げの余韻を引きずりながら、最終日もしっかり研修です。といっても、最終日はごくごく軽めの研修です。まずは「メロン城」へ行き、メロンを使ったアルコール飲料の製造工程を学び、、、と思ったら、残念ながら、工場は稼動しておらず、お土産を買うだけになってしまいました。悔しいのでラムネ一気飲みです。



「めろん城」でラムネ一気飲み

気を取り直して、次はシューパロダムへ。ダムの工事現場を見ようということで、途中、「うさぎや」でドーナツを買い、いざダムへ。



こんな工事内容です

ダムにまでたどり着いたものの、どこから見るのがロケーション的に一番よいのかわからず山の奥へ奥へと入っていきます。「これはマズイ、戻ろうか」とバック。図々しくも、途中で見つけた建設事務所に飛び込んでどこから見るのがよいのかお聞きしたところ、所長さん自らが案内してくださることに。お言葉に甘えて。最高の場所でダムを見せてもらいました。



貴重な建造物だそうです



絶景かな、絶景かな

公共事業に対する評価はいろいろあるでしょうが、それはさておき、純粋にダム工事の壮大さに感動してきました。

それにしても、昔は、別にこんなダム工事なんかに興味関心はなかったと思うのですが、いまでは血が騒ぐように。これも年をとった証拠でしょうか。



写真まで撮ってもらいました

■キリンビール工場

最後は千歳にあるキリンビール工場の見学です。「なぜキリンビール工場に？」と聞かれると答えにつまりますが、学生に製造現場を見る機会を提供したいと思った結果です。初日の新聞印刷工場と同じです。「でもなぜビール工場に？」と聞かれるとこれまた困ってしまいますが、最初はカルビーの工場に電話をしたのです。そうしたら、この日は予約ですでにいっぱいだったので、次にキリンビールに電話をかけたというわけです。アルコールに惹かれてキリンビール工場にしたわけでは決してありません。あくまで、目的は製造現場をみるということであり、アルコール見学ではありませんよ、はい。



可愛い模型

工場見学もさることながら、試飲会も楽しかったです（ビール工場になったのは、ほんとに偶然でしょうか？）。それにしても昼から飲むビールは酔います。お替りも用意されていたので、立て続けに二杯飲んで、心地よく酔ってしまいました。



試飲会。でも 20 歳未満は清涼飲料水！

以上で今回の地域研修は終了です。夕張で学んだことを今後の学業にしっかりといかしてください。まずは、今後予定されている研修報告会を楽しみにしています。お世話になった皆さん、本当に有難うございました。



学生諸君よ、大志を抱け（番外編）

【資料一覧】

資料1 西村宣彦（本学教員）「あなたのマチは大丈夫ですか？—北海道の財政危機問題を考える（道民カレッジ「ほっかいどう学」大学放送講座）」

資料2 保母武彦「夕張市の財政再建とこれからの夕張—財政問題を越えて新しいまちをつくる」『北海道経済』2006年11・12月号、北海道経済研究所

資料3 保母武彦「夕張破たんをどうのりこえ、旧産炭地域をどう再生させるか」『北海道経済』2007年3月号、北海道経済研究所

資料4 新聞記事（北海道新聞）

1. 観光頼み負の側面（06.06.13）
2. 転落 夕張市再建団体へ（06.06.18～06.20）
3. 夕張市負債600億円（06.06.20）
4. 夕張市の財政再建団体申請に想う（06.06.22）
5. 空知6市町「ヤミ起債」 早期是正なら財政危機（06.06.24）
6. 違法な借金窮余の策（06.06.27）
7. 「会計操作で隠蔽」指摘（06.06.29）
8. 単年度予算主義“ジャンプ”（06.06.30）
9. がけつぷちの財政（06.07.25～07.27）
10. 夕張よ 盛衰の軌跡（06.08.29～06.09.04）
11. 夕張よ 北炭新鉱ガス突出 25年の歳月（06.10.18～10.24）
12. 夕張市民負担増試算（06.11.18）
13. 夕張市職員 手取り生活保護以下？（06.12.28）
14. 夕張再生考（07.03.08～03.12）
15. 「協働の街」を目指して（07.05.30～07.06.03）
16. 参院選 2007 政治が遠い—旧産炭地から（07.07.06～07.07.10）
17. 夕張リゾートの挑戦（07.07.25～07.27）

資料5 新聞記事（朝日新聞）

1. 地方交付税 全国市町村アンケート（06.07.17）
2. 夕張ショック 再建団体へ（06.07.20～09.12）
3. 夕張市の再建計画暮らし直撃（06.11.15）
4. ニュースがわからん 夕張市は財政再建団体になるのね（06.12.26）

5. 時時刻刻 動き出す夕張再建（07.01.28）

資料6 関連サイト

1. 夕張市
<http://www.dolphin.co.jp/hpr/yubari/>
2. 夕張商工会議所
<http://www16.ocn.ne.jp/~yubari/cc/>
3. NPO法人夕張観光協会
<http://www.baribari-yubari.com/>
4. 夕張高校
<http://www.yubari.hokkaido-c.ed.jp/>

資料7 横山純一（本学教員）「夕張市の財政再建と地域経済の課題（上）（下）」北海道雇用経済研究機構、2007年4、5月

資料8 北海道開発調整部統計課『北海道市町村勢要覧』第20回（平成元年）～第28回（平成17年）、北海道統計協会

資料9 夕張市「夕張の概況説明（平成19年度）」